

談話会通信 No.17

東京蜘蛛談話会

新会員紹介
総会・例会のお知らせ
KISHIDAIA No.42 種稿募集
etc.

木々の葉に雨がしっくりくる季節になりました。蜘蛛なまきはもう活動を開始されているころと思います。遅くなりましたが、今号でもさそくクモ談話会の情報をキャッチしてください。(田中)

— 新会員紹介・住所変更 —

ようこそ談話会へ、よろしくお願ひします。談話会で大いにクモの情報をつなぎあててください。

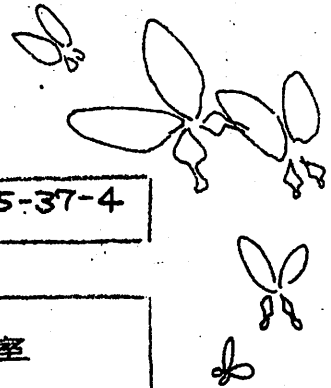
野沢 孝之郎氏 〒155 東京都世田谷区北沢 5-37-4

田中穂積氏より連絡先変更のお知らせがありました。

〒591 堺市百舌赤坂町丁百三番

堺市立科学教育研究所 動物研究室

田中穂積



総会・例会のお知らせ! 6月26日(日)

6月26日(日)東京蜘蛛談話会 総会・例会をおこないます。談話を通じて会員の皆様の密接なつながりを持ちたいと思います。ぜひ参加してください。

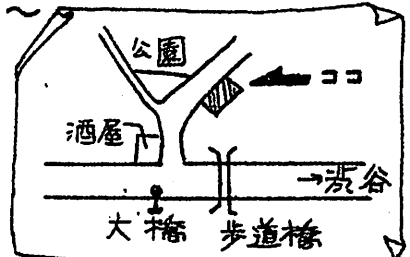
日時: 6月26日(日) 10:00 AM. ~

場所: 目黒大橋区民会館

(渋谷駅南口からバス)
大橋バス停下車

内容: 総会

例会・とっておきのクモ
・クモのみわけかた



※ とっておきのクモ クモとつきあっている皆さんには それぞれ とっておきのクモというのが あるのではないのでしょうか。たとえば、初めて長く飼育できたクモとか、クモをはじめ一番最初に とったクモとか、自分が持っているクモで一番めずらしいクモとか。理由は 何にせよ とっておきのクモというのが あるのではないですか。とっておきのクモを持ちよって クモ談話をしましょう。

※ 持ちものクモ・昼食・ルーペ (クモのみわけかたで使いたいと思います。できればお持ちください。)

詳しくは新海栄一まで 〒105 国分寺市 本多1-6-6

TEL. 0423-21-0289

▶高橋米夫氏…
高橋氏から寄席じり
が送られてきました。
くもにその記事
だからということだけ
でなく、内容にも引
かれるようです。
くも 驚愕 承けておく
作らくごにもくもの
登場してくるものが
あるようです。

くも

高橋米夫氏から寄席じりが送られてきました。くもにその記事だからということだけでなく、内容にも引かれるようです。くも 驚愕 承けておく作らくごにもくもの登場してくるものがあるようです。

伝統を破る工夫を

高橋米夫氏から寄席じりが送られてきました。くもにその記事だからということだけでなく、内容にも引かれるようです。くも 驚愕 承けておく作らくごにもくもの登場してくるものがあるようです。



写真があつたのでおバ
世印刷にならないので終に
しました。こんな感じです。
落語の話をつけます。

高橋米夫氏から寄席じりが送られてきました。くもにその記事だからということだけでなく、内容にも引かれるようです。くも 驚愕 承けておく作らくごにもくもの登場してくるものがあるようです。

高橋米夫氏から寄席じりが送られてきました。くもにその記事だからということだけでなく、内容にも引かれるようです。くも 驚愕 承けておく作らくごにもくもの登場してくるものがあるようです。

▶くもが登場する落語を紹介してくださいました。熊田憲一氏からよせられたものです。
題名は「まんじゅうこわい」です。大人が集まってきて子供のころの話をはじめめるのですが、話は題名が utschiko わかったものについてです。いろいろ出てきていました。へび 蛙 馬 くも……。幼中に全くこわいものがないという男が出てきまはる。そこでまわりの者が しつこく聞いたすと、一つだけこわいものがあるという。それが「まんじゅう」……ときほどあんまりひどくこわい男を、こわがらせてやる。おりの者が まんじゅうを買ってくることになりましたが……

「まんじゅうこわい」 (熊田氏より)

「おい熊さん、おのんは、まきからおれたちの顔をかきさらたばこぼかりのんで、いるが、いったいなにがこわい？」

「なだせー」

「なにがこわいんだよ」

「略……」

「なにをぬかやがるんだ」

「まきからうだままで、まきこりやあたらがないじゃねえか。人間は」

「万物の霊長とて、いさばんえれえんだぞ。……へがこわい、誰がこわいだってやから、……人間やめちまえ……」

「それに、ありがこわいとほ、なんてえやつた。おれなんか赤飯」

「食うときにも、まがな、いどなる、まのかわりに、ふりかす」

「て、食うちまわめ……もつとも、まが、かけだ、やが、そすこ」

「し、食いに、く、けれと……それに、く、まが、こわいと、から、て、た、な」

「だ、う、しが、ぬ、え、じ、ぬ、え、か、く、も、なん、か、ど、ま、が、こ、わ、い、ん、だ、お」

「れん、ち、じ、や、あ、な、ど、う、食、う、と、き、に、く、も、ま、き、こ、り、ひ、き、こ」

「う、か、ま、え、て、き、て、な、ど、う、の、な、か、へ、ほ、り、り、ん、で、き、や、う」

「き、や、う、か、ま、ま、つ、し、ま、つ、ん、だ、さ、う、す、ま、ど、な、ど、う、か、糸」

「を、ひ、り、て、う、め、え、こ、の、う、な、じ、だ、と、れ、に、……」

「……えな、話、が、続、き、ま、す。ナ、う、お、ち、は、……」

「……續、き、を、読、ん、で、の、お、た、の、し、み。お、あ、ど、か、よ、ろ、し、い、ま、う、で、(田中)」



▶ きまぐれポスト …… 談話が豊々うれいひめいひです。今度は日本的なことから、外国へピンタッチします。1月26日付の小野氏の便りを紹介します。

小野展嗣氏 (ドイツより)

● 12月31日の夕方には市内の Dom (マインツの Dom は有名) へ、ミサを聞きに行きました。パイプオルガンの音がききたから、たいです。なるほど荘厳でした。ミサに来て居るのは多くがお年寄でした。バスがなくなるので、あわてて家へ帰りました。その晩の12時つまり'76年から'77年の変わり目には時報と同時に各家から一斉に花火が打ち上げられ、我家は小高い丘の上なので、田中から花火が上るので、とてもきれいでした。しかし、毎年か、あけてしまつと3日から仕事と学校が始まります。Mainz 市は人口18万位

たそうです。小さい町です。大学は印刷を發明した Gutenberg に由来するようです。今年で創立500年とかで何かお祭りがあつたようです。先日初めて、採集に行きました。お森を採集し、その中の木ち木の皮を、はかしたり、その下の土を、持ちかえって、小さな甲虫やクモをソーティングしました。ユサラは成体がたくさん採れます。それから、鳥の巣箱の中のゴミからハエトリか、で、てきました。残念ながら、ドイツのクモを、調べて居る暇はまだありません。

● 3月8日付の小野氏の便り。ドイツ人はヒゲをはかした人が多く、研究室に居る友達に、たつた学生も5人、うち3人が、ヒゲをはかしています。それで一度、は、か、せ、う、か、と、思、て、試、し、て、み、ま、し、た、が、1、週、間、ほ、ど、で、7、8mm に、な、つ、た、も、の、の、本、数、が、少、な、く、ま、い、づ、ら、で、み、つ、つ、も、な、い、気、が、し、て、き、れ、い、に、も、り、ま、し、た。

— 以上 —

▶ ちょっと気になる話

大利利史氏より 次のたゞし書きと共に、このような記事が送られてきました。

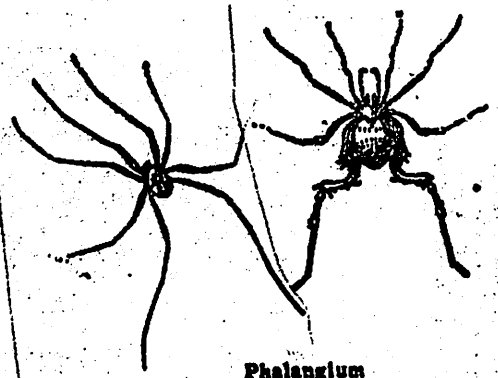
医学の通俗誌をを読んでいたら面白いものをみつけたので紹介します。会員のなかには18才未満の方もいらしゃるので えんりよするのが本当かもしれませんが、まあいいでしょう。この続SEXOLOGYは須東美知氏のヒット・随筆風エッセイです。余りまじめになって読んで正しい避妊法を忘れませんように忠告しておきます。大利
1976. 12. 7.

続SEXOLOGY 避妊の話 第7話 呪術による避妊〈その2〉

Plinius自身は、〈phalangium〉というクモの体内から抽出した抽出物を鹿の皮切れに包み、日の出前に女性が身にまといつけるというものである。この phalangium いう大型のクモは、ヨーロッパ、北アメリカなどにいるごく普通のクモで、ギリシャ語の方陣 (phalanx) にその名が由来しているという。このクモは、南ヨーロッパで草刈人をかむ有毒のクモに紛わしいので、恐ろしい方陣兵士にたとえて名付けられたという。もっとも長い脚がとくに目立つので、足指 phalange から出たともいわれている。

いずれにしてもこの避妊法は、Pliniusによればあらゆる避妊法のうち、子だくさんのための出産に、いくぶんの猶予期間が不要とされる女になら教えてもよい唯一の避妊法〉といっている。

(一部紹介)



Phalangium

文ではクモになっていますが、図をみたところでは、サトウ虫ミの一種のようですね。

▶ クモの写真

アカオニクモの交拝に関する写真が「遺伝」12月号にのっているそうです。興味のある方ごらんください。

城 成 台 (1976)

アカオニクモの交拝

遺伝 Vol. 30, No. 13

12月号 p52

裳華房年刊

本の紹介をしていただきましたが、その他にもクモに関するものがのっているものが ありましたら、教えて下さい。

またテレビ番組などでクモを扱った番組が放映されることか前もって わかりましたらおしえてください。(田中)



▶ ハエトリグモについての
文庫大紹介

松本 誠三治氏

遅れはせながら、Locket, Mill-
idge & Merrett (1974) Briti-
sh Spiders Volume III をなが
めていたところ、291ページに次のような
ハエトリグモの属に関する見解が
のっていたので紹介します。

『属 *Hycia* E. Simon, 1876
Barnes (1958) は、ケニアリアをも
とにして *Hycia* 属を *Marpissa* 属の
シニムとした。

Hycia はまた *Mithion* 属に
よく似ているが、この属と *Marpissa*
属からは、第4脚 蹴み端の棘が
2本減っていることにより異なる
(*Hycia* 属のタイプ種 *H. niwoyi*
(Lucas) がこれ)。

H. niwoyi は *Marpissa* 属の種
から外見は全く異なっているので、私達
は、*Hycia* 属を現時点ではまだ
認めておきたい。 □

日本産のハエトリグモでもオオ
ハエトリ (*Marpissa* 属) と、オスワ
ハエトリやヤハズハエトリ (*Hycia* 属と
されていた) では、♂の触肢の形態
には差があります。(♀の生殖器官で
は、♀同士差はありません。

フック ↗

日本では、1976年に八木沼先生
が Barnes の意見を認めて
Hycia 属を *Marpissa* 属
のシニムとして以来ずっと
Marpissa が使われてしまし
たが、外国では、また問題の
火の手(また火煙)かも知れませ
ん)が あがったようです。以上 -

松本さんからの報告があり
ました。

とこまで 松本さん おびんが ハエトリ
グモの標本も お持ちでしたら オオハ
エトリ 似かいて お持ちくださいませんか
とんは 今 ハエトリの類を おつめて
いざとておつ。 (田中)

▶ かわいい絵本



談話室

談話室では、談話会の活動や、
話題をおつかいたいと思っています。参加
された方でできなかった方になさるべくわか
りやすい情報が届けられるようにしたい
と思います。いろいろアドバイスをホトセ
ください。(田中)

▶ 松本誠治氏から…(話題を絞め
てくださいました。)

「昨年、熊蜘蛛談話会で、八木沼先生に
次のようなお話がありました。それは、アオビ
ハエトリのいたずらに困っているガス会社の
人が、八木沼先生の方に智恵をかりたいと
いう内容でした。

ガス風呂のバーナーの口をフケおく器
具の中に、体長4~5mmのアオビ
ハエトリが、越冬用の巣をつくらせて困っ
たり、その予防対策がないものかとい
うわけで、八木沼先生の方に連絡が
あったとのこと。クモの方は越冬場所
を探していたところ、温かい風呂場
の中にさらに暖かい そして乾燥した
場所をみつけたわけでは、バーナーの口
の空気は入れ口から入り込んで、その少し
奥をネクラにしてしまうので、ガスの方は、
空気不足で燃えなくなるとのこと。そんな
インバーターに出合った家では中毒か、
爆発かという結果にもなりかねず、
こわい思いをしております。

空気孔にアミを付すとホコリがたまる
これまた掃除に大変苦勞することになる



とのこと。ガス会社では、
アオビハエトリの嫌いな
色やにおいなどもさかした
ようですが、妙案はなか

なみからなようです。」
(どなたか良い案はありませんか。田中)

▶ 標本同定会

-4月10日の報告-

栗原さんからの報告があります。

今年初の同定会は4月10日(日)
大橋正民会館で、行われました。当日の
出席者は、以下の方々です。

(敬称は略します。)

内田善晴、梅林カ、栗原輝代子・権田喜雄・
斉藤博・相良理一・佐久間良三・新堀
栄一・鈴木勝浩・高橋登・並木敏一・
蓮沼克己・古浜隆一・松浦祐司・
松本誠治・吉原

運営委員の呼称に反して少人数の参加で
したが、特に内田氏は、この同定会の為に
遠方の新潟から出席されるという熱心ぶ
りでした。

同定に際しては持ち方もたれ?「これは007モ
だ」「たぶんちでしよう」とコミュニケーション
はできたものの、やはり当該談話会の古株のM氏
とS氏が最終的に見直さなければ、ためな動
が多く両氏は多量の色が見えました。

ちなみに多量の同定力のほとぼりといは、
(もちろん千差万別ですが)液にひたした
ジョロウグモの舌が、なにかかむすめしく考え持て
わからなかったり、ワスレナグモをキボリとか、
アゴアトグモをドヨフとか、ヨダハエトリを、
マミシロハエトリ(本当はマミアカなのに)とか
オニグモの2令ほどの幼生を「これは00オニグモ
だとか」「これは0000オニグモだ」とか、
みんな持ちえたことなど、etc. 液浸にひた
7Eは、なんと名前がつきにくいにか!!また
るグモはなんとわからぬものか!!

そしてクモの同定は、なんとむずかしい
ものか!! 古株さんたちをこまらせないよう
にするには、まだまだ時間がかか
るようです。皆さん! 談話室繁栄の
為にもどしどしわからぬクモをもち
来て勉強をしようではありませんか。

春の採集観察会

先日5月15日(日)に談話会の春の観察採集会がひらかれました。あいにくの雨でしたが、9名もの参加があったそうです。参加された皆さん、いかがでしたか。

さそく、せりげさん、嶋田川貞一氏から報告がありました。

春の採集観察会雑言記一

嶋田川貞一

今年の春の採集観察会は5月15日(日)に埼玉県日高町にある巾着田(ぬきり)において行なわれる予定であったが、おはこれまで続いた青天がウソのようなどしゃぶりで予定を午後から変更し近くの聖天院にて採集を続け3時30分頃引き上げました。この日の参加者は、貞元元良、佐藤孝子、嶋田川貞一、新海栄一、鈴木勝治、(氏名不明)、古坂隆、松本誠治、(氏名不明)所沢高校を今年卒業した小糸浩二君の計9名の7モキチでありました。

14日の午後あたりから天気が悪くすれはじめ、15日は1日中雨になるとの天気予報のはすれることを期待したが、それはおおいにうらぎられ当日の朝は、はげしい雨音で起こされてしまった。雨天決行とは明記はものの、このドシャアリのなかには何人かの人達が参加してくれるのかと内心おたずねでなかつた。

高麗駅(こま)へ行く途中、古坂氏と会い、一緒に馬場に着いたところすでに鈴木小糸の両氏がみえて



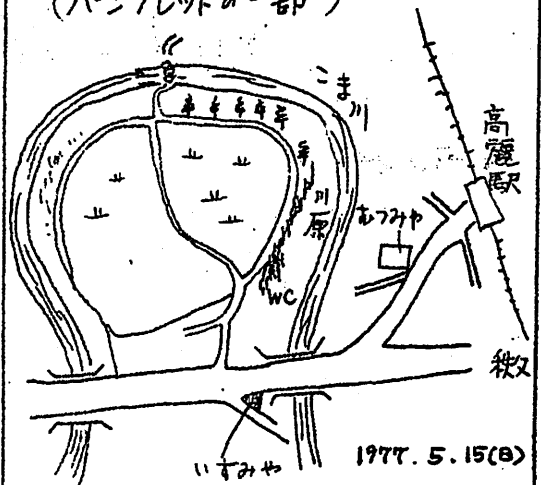
いた。その後車で2人が、八高橋をを利用してきた人達3人が、……などと到着した。

準備したパンフレットを配り布してから10時20分頃、2台の車に分乗し巾着田へと向った。雨はいっこうにやまず、皆びしょびしょになりながらも採集を続けた。お昼は近くのドライブインにて食事し、午後からは、宮沢湖へ向うという予定コースをはすれて、高麗神社手前の聖天院にて採集を行った。

聖天院は採集場所として皆気に入ったようであった。2時間ほどここで採集をし、一日中降りやまなかった雨をうらみながら帰路についた。

最後に皆さん雨の中本当にごくろうさまでした！

(パンフレットの一部分)



以上が活動報告、談話会での主な話題です。

運営委員会・その他談話会
関係の連絡板になっています。
KISHIDAIA・会費・文庫など
に関する記事があります。

◎ KISHIDAIA No.42 原稿募集

きがるな楽しい原稿、小さな研究、採集記等 おまらしています。
原稿は1977年10月30日 到着をもって希切となります。それ
以降到着したものは、43号となります。

KISHIDAIA についての問い合わせ先、原稿おくり先

熊田 憲一 〒221 神奈川県横浜市神奈川区片倉町199

◎ 訂正とお詫び ~ 蔵書目録について ~

蔵書の紹介をしておりますが、こちらの手ちがいにより、No.15~No.16
(通信の15号・16号)の蔵書目録ナンバーが まちがってしまいました。
大切な文庫についてのミスで、会の皆様へのいれかけをかけたので
では、ないでしょうか。ここに お詫びし、訂正いたします。

通信15号 p.6 蔵書目録は、

No.62となっている所 → No.71に訂正
(以下順々にすらす。No.71~77となる。)

通信16号 p.7の目録ナンバーは、

No.78 ~ No.80になります。

◎ 春の採集会 - 嶋田 - の記録を出してください。

5月15日の採集会に参加された方、感想リストを嶋田まで おとどけ
ください。よろしくお願ひします。

嶋田 順一 〒357 埼玉県飯能市本町 5-4

◎ 52年度会費

1500円です。振り込みは、

東京一ア 74885
東京蜘蛛談話会

あいさつが遅れてしまいました。松本さんから
通信をひきついて、2号目になります。No.16
は、また「あやしいな気持ちもあつたので」、
一筆もつけたしませんでした。失礼しました。
え？誰かて... そうです あいさつ中でした。
瑞穂のタヌキと 田中です。かなり おちこ
ちいなので、失敗も多くなりそうです。いろいろ
アドバイスを、お願ひします。
ところで、今号は、かたくなってしまった感じが
しませんか。いかがでしょうか。

東京蜘蛛談話会

〒191 東京都日野市豊田 1896

壺嶋 泉方 TEL 0425(81)7128

発行責任者：田中理恵

〒190-12 東京都西多摩郡瑞穂町
武蔵 41 番地